

- ◎ 優しいまちづくりを目指し、中学生と民生・児童委員がコラボして地域福祉を進めます。
- ◎ 福祉行政の出前講座を利用して、思いやりと周りの人への気づきを学びます。
- ◎ 光井中学校から笑顔あふれるまちづくりを発信します。魔法の言葉 「はいチーズ・笑顔キープです」

認知症サポーター養成講座

5月19日(金) 光井中体育館

対象：光井中1年生

講師：鬼木 泰子(キャラバンメイト)

認知症を正しく理解し、認知症の人と接するときの心構えを学びました。絵本「ばあばは、だいじょうぶ」の読み聞かせでお婆ちゃんとの葛藤やお婆ちゃんが行方不明になった時の心の揺れ動きが伝わりました。また模擬訓練として認知症役の人と対面し話を聞いてあげる練習をしました。上手には話せませんでしたが良い経験になりました。



「子どもたちは希望の光」

「自分が住む地域で民生・児童委員の皆様が果たしておられる役割を知ったこと」、「『認知症の方々のサポート』というテーマで委員の皆様と交流できたこと」は、生徒にとって、かけがえない財産となりました。

また、困っている人に会ったらどうすればいいかを真剣に考える子どもたちの顔を見て、光井地区の明るい未来を確信しました。本当にありがとうございました。

校長 小林久美子



中学生への期待

民生・児童委員と中学生と一緒に活動する中で、地域の人々と関わり、思いやりや気づきを学んで地域の福祉を考える人になって欲しい。

今後の活動

- 研修**
- ◎ ひかり見守りネット
 - ◎ 障がい者用ヘルプカード
 - ◎ フードバンク光・こども食堂
 - ◎ 緊急通報装置さすけセンター
- 活動**
- ◎ 地域の環境活動(ゴミ拾いを実施)
 - ◎ 一人暮らし高齢者の訪問
 - ◎ 福祉ボランティアの広報活動



生徒からの感想

- ◎ 話し方や対応の仕方など色々教えてもらいました。「認知症」という言葉は知っていたけど、違う角度から教えて頂きました。日常で困っている人を見かけたら助けることのできる人になりたいです。
- ◎ 認知症の人はただ忘れっぽくなるだけではなく、気持ちがちゃんとあるんだ、ということに改めて気付きました。
- ◎ 何を話しかけたらいいのか難しかったです。もし認知症の人と出会ったら落ち着いて優しく接してあげたいです。
- ◎ 認知症の人に話しかける時は驚かせない・急がせない・自尊心を傷つけないことが必要だと分かりました。



Instagram



@SMILEFUKUSI

LINE QR コード



(活動の記録)

@455benjg

(連絡用ツール)